

【道徳・中3・「誠実な心と責任ある態度」 A 自主、自律、自由と責任】①

育成を目指す資質・能力

母の言葉が「私」の頭の中をずっと支配していた理由を考え交流することを通して、誠実に実行しその結果に責任をもとうとする実践意欲や態度を育てる。

ICT活用のポイント

導入から終末まで一つのツール（アンケート機能）でつなぐ / リアルタイムでアンケート結果を表示 / 全員の考えを共有

導入：問題意識をもつ

めあて
誠実に行動するために何が大切か考えよう。

展開：道徳的価値についての考えをもち、交流する

中心発問
「うそつきは神様が許しても母ちゃんは許さん」という言葉が「私」の頭の中をずっと支配していたのはなぜか。

終末：自己を見つめる

本時の学習を振り返ろう。
* 今までの自分 * 学んだこと・気付いたこと
* 今後に向けての思いや願い

事例の概要 教材名：「思い出のオムライス」（学研）

【事例におけるICT活用の場面①】（問題意識をもつ）

- 本時で扱う道徳的価値について、ICT端末でアンケートを行い、実態や課題を把握する。

【事例におけるICT活用の場面②】（自分の考えをもつ・他者の考えを知る）

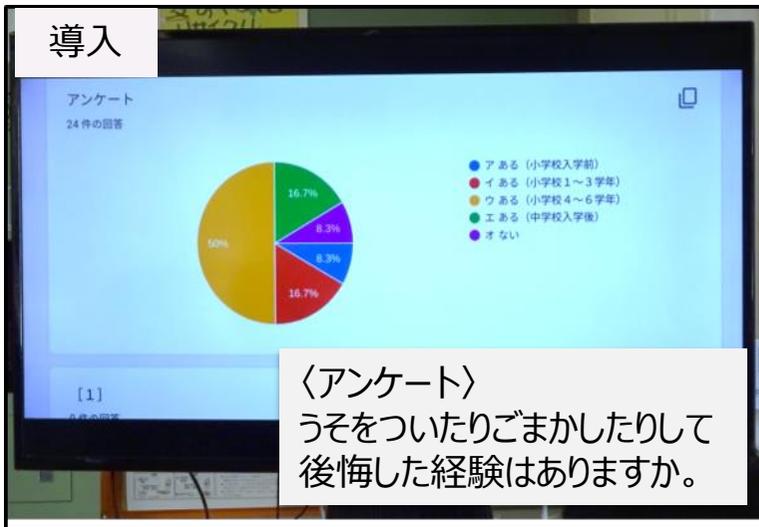
- 中心発問に対する考えについて、アンケート機能の記述回答欄に短文で入力する。
- 全員の考えを共有し、小グループで意見交流する。

【事例におけるICT活用の場面③】（自己を見つめる）

- 本時を振り返り、「今までの自分」「学んだこと・気付いたこと」「今後に向けての思いや願い」を記述回答欄に入力し、全体で共有する。

【道徳・中3・「誠実な心と責任ある態度」 A 自主、自律、自由と責任】②

【事例におけるICT活用の場面①】



○導入の場面において、本時で扱う道徳的価値に関わるアンケートを実施。回答は選択肢から選び、ICT端末でクリックして送信する。瞬時に結果が円グラフで表示されるため、生徒の実態をその場で把握できる。アンケート結果を可視化し、考えるきっかけを促すことで、興味・関心が高まり、道徳的な課題を自分自身の問題として考えることにつながる。

○めあてについてももう一度考える場面や終末でも、導入時のアンケートを活用することで、考えの変容を確認することができる。

【事例におけるICT活用の場面②】

展開



この意見は主人公の心の変化について自分とは違う視点で考えている。なぜだろう。みんなはどう思う？



○中心発問に対する自分の考えを記述回答欄に入力。簡潔な短文で記述するよう指示し、全員の考えを共有する。発言することが苦手な生徒も、自分の考えを伝えることができる。

○ICT端末で他者の考えを知り、自分の考えと比べながら小グループで意見交流を行う。より多くの考えを知ることが可能となり、意見交流の充実につながる。

【事例におけるICT活用の場面③】

終末 振り返りを入力し、共有する。

○導入から終末の振り返りまで一つのツールを使用しているため、入力した内容を1枚のシートにすることができ、自他の考えの変容が一目で分かる。

○生徒の学びや成長を教師が見取り、評価に生かすことができる。

【活用したソフトや機能】

アンケート機能